

NEW

ベアドッグがやって来た！

二〇一五年十月八日。

アメリカのミネアポリス国際空港、東京行き搭乗口のあたりでは、ちょっとした人だかりがしていました。二頭の犬がいたからです。

「あの犬たちも、飛行機に乗るのかな？」

「警察犬？ それとも災害救助犬かしら？」

どの顔にも「ハテナマーク」が浮かんでいて、直接、質問して来る人もいました。

白黒の毛並みで、大きな三角形の耳に、がっしりとした太い足。シベリアンハスキー犬にちょっと似た「カレリア犬」という犬種で、日本ではあまり知られていない純血種です。この犬たちは、これから日本で、「ベアドッグ」と呼ばれる仕事につくことになりました。

「ベア」はクマの意味ですから、ひと言でいえば、人とクマがともに生きていく（共存する）ために働く犬です。

日本の航空会社では前例がないために、まだ認められていませんが、アメリカの航空会社では、人のために働く

「職業犬」として、盲導犬などと同じように、客室に人と

一緒に乗ることが許されています。

犬たちに付き添っているのは、田中純平さんとアメリカ人女性キャリア・ハントさんです。

キャリアさんが、この犬たちの育ての親です。

アメリカには、アメリカクマとヒグマが暮らしています。日本にはツキノワグマとヒグマが暮らしています。

どのクマも、自然の中で暮らしていれば、素晴らしい地球の仲間です。でも、クマが食べ物を探しているうちに、人のすむ場所まで近づいてくる場合があります。

人間の食べ物の味を覚えてしまうと、何度も来て荒らしたり、ときには人を傷つけたりもします。

アメリカでは、こうしたクマは殺される（駆除される）か、ほかの場所で放されましたが、放されても、また戻って来ってしまう問題が起きていました。

それで、キャリアさんはどうすればクマを殺さずに、人間への被害をくい止めることができるか、ずっと考えてい